

【資料 5】

定例会本会議等における質疑答弁議事録(抜粋)

(令和7年10月決算常任委員会(文教市民分科会)・令和7年11月定例会)

【令和7年10月決算常任委員会(文教市民分科会)】(令和7年10月20日)

◆梶川文代委員(市民と歩む議員の会)

青少年クリエイティブセンターやねんけど、これつい最近にまた何か大規模な施設再編とかって何か言うてはきてはんのはええねんけど。ただ、ごめんなさい、これ去年もおとしもチェックしたんですけど。いや、実はつい最近出してきてはるこういう再編みたいなものとかが、何かまた降って湧いて出てきてんなみたいなのところがある。ただ、これするとなっても、やっぱり、例えば公共施設等整備基金なんかも、がた減りなってるの知ってますか。もう令和4年、70億円を超えとったんが、もう今、31億円ぐらいなってるし。だから、公共施設等整備基金はがた減りやし、じゃあ、財源確保どないすんねんやろみたいな。やっぱりそういったものもなくて何かいきなりやりますみたいな形なんで、ちょっとやっぱり決算の中でもそういったことを意識したものでいうんじゃないくて、必要やいうことをぱつと言うてはんねんけど。やっぱり、その裏づけになるようなものを、土台的なものを、やっぱり吹田市、おざなりにしていきなりやりますねんみたいな、子供みたいなこと言うたらあかんでみたいなのところも感じるどころ多々あるんで、考えてもらえたらなと思ってます。

ちなみになんですけど、これ公共施設最適化推進委員会にも、この施設の件には全然触れられてはいなかったんですけど、これまで部内ではどういう動きやったんですか。青少年クリエイティブセンターの建て替え等について。

答弁(青少年クリエイティブセンター)

このたびのクリエイティブセンターの施設の移転、集約、建て替えの計画につきましては、令和6年度に全庁的に岸部中地域のまちづくりの連絡調整会議というものを実施しておりまして、その中で庁内で検討を進めてまいりました。

岸部中地域でどういうことができるかというところで、その中で運動広場と大きな施設を持っている、私どもクリエイティブセンターで、青少年会館及び体育館の

ほうは築後 40 年を経過して経年劣化も進んでいるというところもありますので、このまちづくりを活性化させていこうというところで、このクリエイティブセンターを新しく建て替えて、全市的な施設として改めてリニューアルオープンをさせていこうと、そういったところで検討を進めてまいりました。

また、財源のほうも、今、協議を進めておりますのが国のほうのまちづくり関連の交付金、こちらのほう、交付要件等々を整理しまして、該当できるかどうかというところを国と協議をしているところでございます。

◆梶川文代委員

いや、それ10年前に協議してて、いよいよやりますねみたいな流れやったら分かんねん。だから、今、協議して、それ10年後にやりますねんと。それまでの間に財源等もしっかりとというようなね。やっぱりそういう入念な準備というか、そういうのがもうないみたいな、その辺りちょっと気がかりなんで。やっぱり、今日言うて明日やるは無理やでということを申し上げておきます。

【令和7年11月定例会】(令和7年12月8日)

◆乾議員(大阪維新の会)

岸部中地域のまちづくりについてお伺いします。

本年9月2日の吹田市企画会議で、青少年クリエイティブセンターの青少年会館・体育館・運動広場管理棟の3施設について、運動広場の周辺用地を取得した上で、当該取得用地を含む運動広場用地へ移転・集約建て替えを実施する方向で検討を進めることを確認されました。本市ホームページに公開の会議概要によると、施設の老朽化対策が必要なこのタイミングに、施設を集約化してよりよくしていくことで、健都和隣接する岸部中地域のまちづくりを進めていくスタートポイントとし、全市的な青少年の拠点施設としても改めて位置づけ、子供や若者が行きたいと思える居場所をつくっていききたいとあります

また、他の施設との複合化については、必要な機能について市として方向性を定めた上で、今後検討していくとのこと。そして、意見としては、青少年クリエイティブセンターについては、(仮称)こどもスポーツパークといったような、青少年が運動できる特色のある施設として位置づけて検討するといったことも考え

られるのではないかとありました。そこでお伺いします。岸部中地区には岸部診療所の跡地や今後の移転建て替えに伴い生じることぶき保育園の後利用のような大きな面積の用地をはじめ、公有地が多数存在しています。このような状況の中で、青少年クリエイティブセンターの(仮称)こどもスポーツパークとしての整備にとどまらず、岸部中地区を具体的にどのようなまちづくりの構想を持って整備推進していくのか、クリエイティブセンターの施設再編の基本構想との関係とスケジュールについて、地域教育部と都市計画部にお伺いします。

答弁(都市計画部)

岸部中地域のまちづくりについて御答弁申し上げます。

当該地域の公共施設及び市有地の在り方に関し、まちづくりの視点や中・長期的な視点から関係部局間で共通認識を持ち、連携して施設の在り方等を検討しているところであり、全体構想やスケジュールをまとめるには至っていません。クリエイティブセンターの移転・集約建て替えの検討は、当該地域の公共施設や市有地を活用した取組であり、当該地域のまちづくりの第一歩と認識しています。

答弁(地域教育部)

続きまして、青少年クリエイティブセンターの移転・集約建て替えに係る岸部中地域のまちづくりについて、地域教育部からも答弁申し上げます。

青少年クリエイティブセンターの移転・集約建て替えに当たりましては、岸部中地域における将来のまちづくりのほか、市有財産の有効活用の視点なども踏まえながら、庁内の関係部局が連携して検討を進めてまいりました。今後、同センターの移転・集約建て替えに係る基本構想を策定する予定であり、岸部中地域のまちづくりに向けた第一歩になるものと考えております。

◆乾詮議員(大阪維新の会)

岸部中地域のまちづくりについて、青少年クリエイティブセンターの移転・集約建て替えを地域のまちづくりの第一歩に位置づけられているとのことですが、地域のまちづくりの全体像を早期に構想されることを要望します。